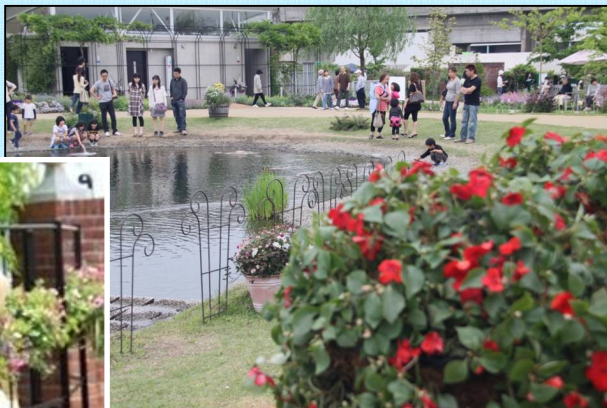


心安らぐ公園 ～メンテナンスは市民中心で～

日本屈指のガーデナー2人が見附市に
～それを支える市民ボランティア～

本格的な英国式庭園：
みつけイングリッシュガーデン



ケイ山田 さん

観光の拠点に成長
入園者数：13万5,000人 (H24)

自然の里山を再現する公園：
ナチュラルガーデンせんりゅう



ポール・スミザー さん

ガーデンを支えるボランティア：
ナチュラルガーデンクラブ
会員 約150名

主な活動

- ・ ガーデンの日常的な管理
- ・ 花苗生産活動
- ・ ガーデнкаフェの運営



公園のメンテナンスは
市民のボランティアで

深呼吸したくなるまち

～市民の協力が不可欠～

- ・ 微生物を利用した生ごみ処理
- ・ 全小中学校に太陽光発電パネルを設置
- ・ アースプロジェクト
- ・ 電動生ごみ処理機の残さを花苗に交換
- ・ 廃食油を回収し代替燃料へ



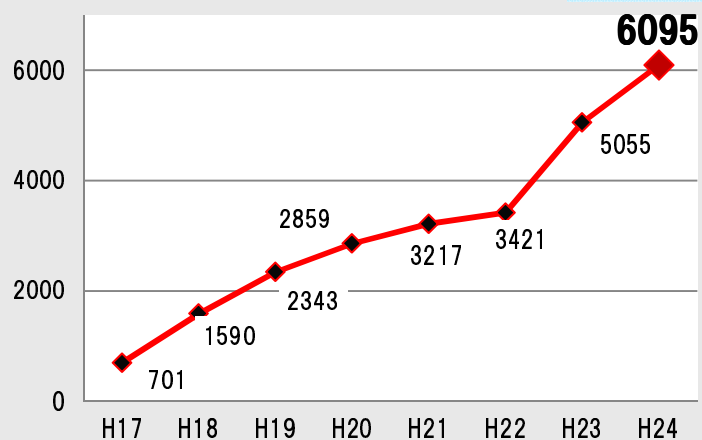
きょう そう きょう いく 共創郷育

～地域の目を学校へ 学校の目を地域へ～

学校・家庭・地域を結ぶ **教育コーディネーター** を全学校に配置

見附子育て・教育の日

市内学校での外部人材活用状況（人数）



教育コーディネーターの活動



各学校が特色を発表する
スクールアカウンタビリティinみつけ

学校の垣根を越えた取り組み
わくわく体験塾



106講座開催（半数は市民主催）
のべ 2,550人が参加

新潟大学との連携
みつけこども大学



小中学校で開催、学習への興味を高める

小規模校の魅力アップ
みつばプラン



オープンスクール3校が合同で学び、
小規模校の魅力を高める

健康施策 は **幸せ** への近道

見附市
いきいき健康づくりの取り組み

食生活

食がいかに大切か知っているまちプロジェクト
日本型食生活を推奨

- 一部の小学校、保育園で玄米給食を導入
- 「よく噛む」効果
- 家族ぐるみで「食の大切さを知る機会」



運動

健康運動教室



医療費の抑制効果を実証

脳の健康教室



認知症の改善傾向がみられる

いきがい

大人の地域デビュー

ハッピー・リタイアメント・プロジェクト

【悠々ライフ】中高年の仲間づくり、生きがい探しを応援



検診

小児生活習慣病予防事業

新潟大学医学部小児科との連携事業



- ・小4と中1を対象に、**血圧・血中脂質・肥満度**を検査
- ・結果を受け、特別授業等を行い、**検診後のフォローを実施**

「健康の駅」設置

- ・市立病院内に設置
- ・気軽に相談や、体験、測定ができる
- ・交流の場として、健康ミニ講座開催など



全国から注目される健康運動教室

初めて医療費の抑制効果を実証



筑波大学大学院
久野譜也教授

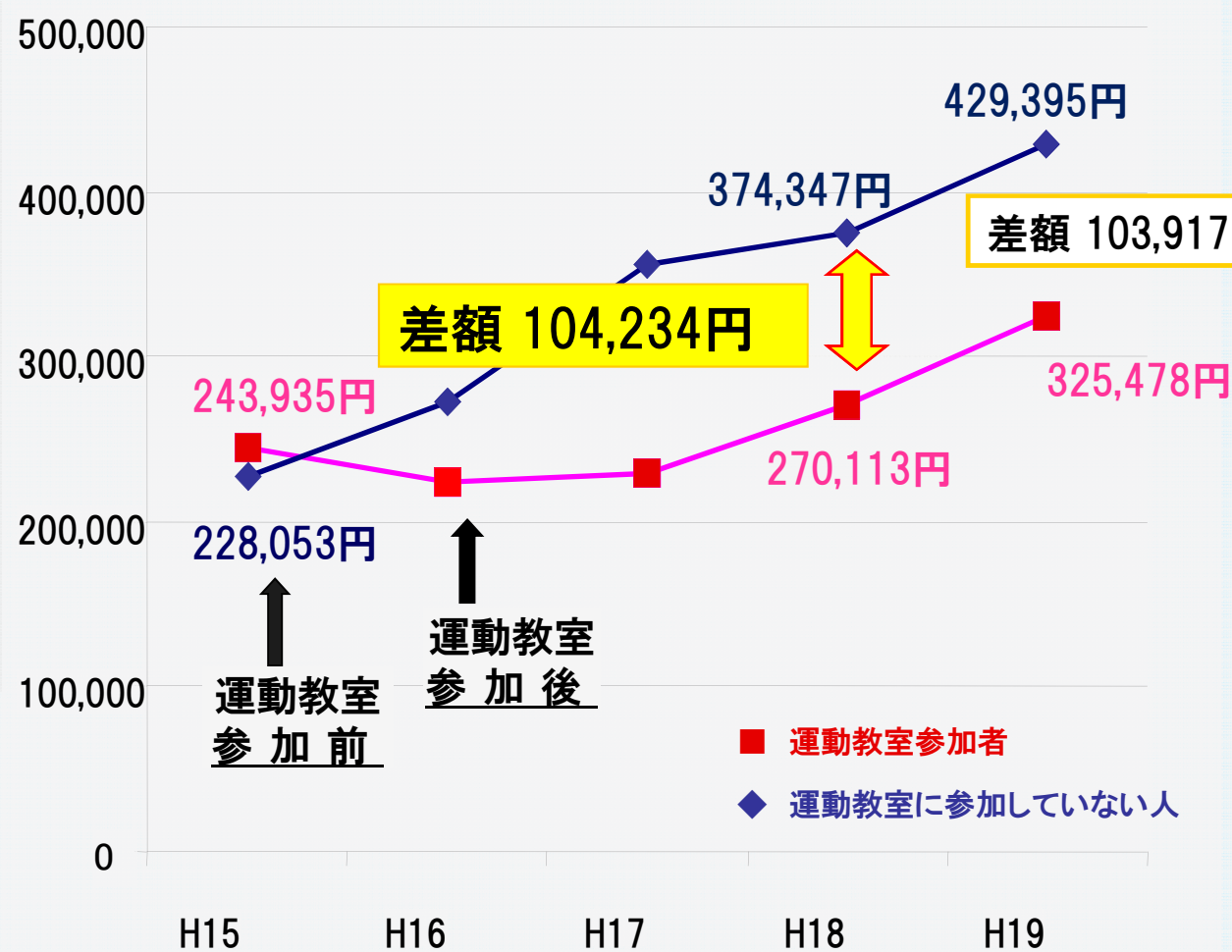


参加者数 (平成25年3月現在)

1,432人

目標は2,000人の参加

年間一人当たりの医療費(円)



食がいかに大切か知ってるまちプロジェクト



朝ごはん
人生が変わる
最新脳科学で明らかに



川島隆太 教授
(東北大学加齢医学研究所)
2011年12月アルカディアで講演

朝ごはんの習慣と質で、
テストの成績、学歴、年収に違いが
パン < ごはん が望ましい

食育の推進

- ・市内小中学校で七分つきの米飯給食
- ・一部小学校、保育園で玄米給食導入



玄米を2割混ぜ込んだごはん

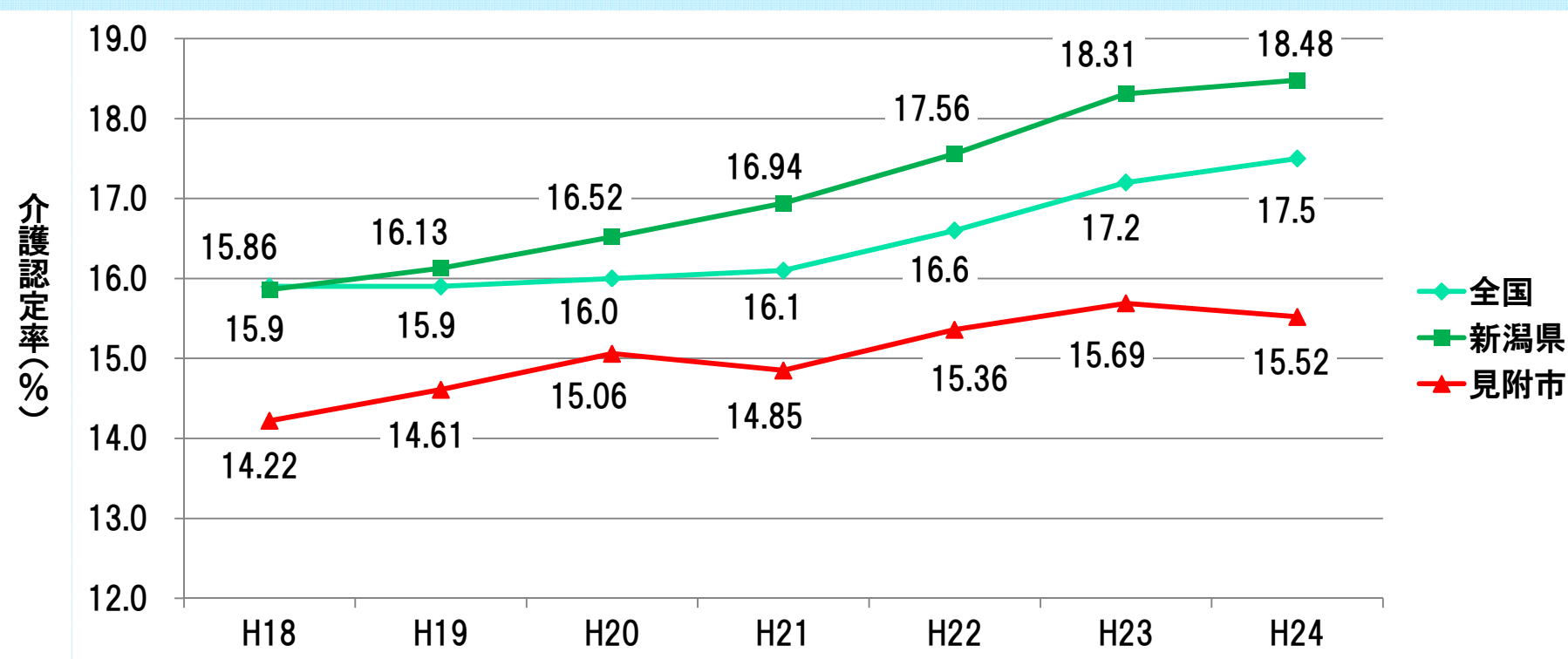
- 「よく噛む」効用
- 家族ぐるみで「食の大切さ」を知る機会



玄米入りごはんを使って
海苔巻を作るイベント
(H24年健幸フェスタ)

見附市の介護認定率

県内20市での最も低い介護認定率 **3年連続 1位**



県内20市での
認定率順位 **4位** **4位** **3位** **2位** **1位** **1位** **1位**